

交通事故のない町へ

交通死亡事故ゼロ 1,596 日達成!!

大河原町では、7月9日に、大河原町内における交通死亡事故ゼロ 1,596 日 (3年 500 日) を達成しました。これを受け、7月12日に大河原町役場で宮城県知事代理の宮城県震災復興・企画部総合交通対策課佐藤副参事 (写真前例右から2番目) より「宮城県知事褒状」の伝達を受けました。さらなる記録更新を目指して引き続き交通安全に努めましょう。



▲記録の更新を願う齋町長と町交通安全関係者の皆さん。

失敗を恐れずに 金ヶ瀬中学校「志集会」

7月13日、金ヶ瀬中学校で「志集会」が開催されました。今回は齋町長が講師となり「希望は心の太陽である」というタイトルで、これまで行ってきた挑戦や挫折、そこから学んだ人との関わりや希望を持つことの大切さを講話し、生徒たちに「挑戦に失敗はつきものだが、一時の失敗やつまづきはさらに高く飛ぶための“かがみ”。そのことを忘れずに希望を持ち続けてほしい。」と語りかけました。



▲齋町長の話をもとにメモを取りながら真剣に聴く生徒。

大地の恵みを感じよう

大河原南小学校 1 年生「じゃがいもほり体験」

7月11日、中の倉の畑で、南小学校1年生の校外授業として「じゃがいもほり体験 (主催:ジェイエイ仙南サービス)」が行われました。

当日の現場はムシムシとした暑さがありましたが、児童たちはそんな暑さをものともせず、「いっぱいある!」「顔ぐらい大きいよ!」などと言って夢中になって掘り進めていました。その後は、持ち運べないほど袋いっぱいじゃがいもを詰め込み、この体験学習に大満足したようでした。



▲たくさんのじゃがいもに児童も笑顔でした。

点字をもっと身近に

点字の絵本を駅前図書館に寄贈

6月28日、多くの町民に視覚障がいへの理解を深めてもらおうと、町内の点訳グループ「てんとうむし」と大河原町社会福祉協議会から、点訳した絵本2冊が駅前図書館に寄贈されました。てんとうむしの竹川代表は「目の見えないお父さんお母さんでも、子どもたちに絵本の読み聞かせができるようにと絵本の点訳を始めましたが、目の見える人たちにも、実際に見て触ってもらって、点字についてたくさん理解を深めてもらいたいです」と述べられました。



▲絵本のほかにも点訳した「先人集」なども寄贈されました。

暑さに負けない熱い戦い 町民レクリエーション大会



7月1日、スポーツを通して町民の健康づくりと地域の交流を広げるため、4種類の競技 (ソフトボール、ビニールボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ) による町民レクリエーション大会が、総合体育館や大河原公園、大河原中学校グラウンドの各会場で開催されました。

当日は30度を超える猛暑となりましたが、試合では、ベテラン選手による熟練のプレーが披露される一方で、若手選手によるはつらつとしたプレーも多く見られ、応援席からは大声援が送られていました。また、ペタンクの「小学生の部」では、地域の一員として真剣に競技に取り組む子どもたちの姿も見られました。(今月号表紙掲載)

《町民レクリエーション大会結果》 (敬称略)

【ソフトボール】	Aブロック 優勝	上谷1区	・	Bブロック 優勝	上町2区
【ビニールボール】	Aブロック 優勝	上川原区	・	Bブロック 優勝	新田町区
【ペタンク】	大人の部 優勝	小島区B	・	小学生の部 優勝	上谷3区
【グラウンド・ゴルフ】	優勝	永沢京子			

スポーツ★ニュース (敬称略)

【大河原町長杯春季野球大会】 開催日:6月24日 会場:大河原公園
優勝▶ビバリーヒルズ 準優勝▶千本桜ゴールデンボールズ 第3位▶雨天決行
【大河原町夏季ゲートボール大会】 開催日:7月11日 会場:広表1号公園
優勝▶原前 準優勝▶堤 第3位▶新開

子どもたちの安全のために

遊び場遊具安全点検

7月5日、広表1号公園で「遊び場遊具安全点検 (主催:宮城県地域活動(母親クラブ)連絡協議会、七草クラブ、らんらんクラブ)」が開催されました。

この遊具安全点検は、平成15年から全国の母親クラブにより各地で行われ、今回大河原町では宮城県内のモデル地区として実施されました。

破損個所の確認のほか、実際に使用する子ども目線となって、身体が挟まる部分がないか、服などがひっかかってしまう部分がないかなどを特に注意して点検が行われました。



▲危険がないか、すみずみまで丁寧に確認しました。

おおがわらを見続けて 100 年

吉田菊治さん 100 歳おめでとうございます

7月16日に100歳の誕生日を迎えた吉田菊治さん (保料区) へ、同月20日、町から敬老の意を表してお祝いが贈られました。

生まれも育ちも大河原町の菊治さんは、仕事も大河原町役場へ勤務し、大河原町の発展に貢献してこられました。退職後は畑仕事が楽しみの一つで、毎日のように近所の畑に通っていたそうです。3年前から現在の施設へ入所し、畑仕事ができなくなったのが残念だと話してくれました。

これからもどうぞお元気でお過ごしください。



▲訪問時には、昔の話をたくさん聞かせてくれました。